

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年7月30日				
こども発達支援室STEP						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	新設するにあたって、主に使用する指導室は広い空間が確保できるようにした。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	支援の必要性の度合いに応じてなるべく配置可能のように配慮している。	職員数が少なく、子どもの人数と比べると、日によって目が足りないことがある。職員間で協力し助け合っているが、採用に力をいれる必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	ユニバーサルデザインに配慮し、スロープを設置するなど車椅子でも生活できるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		活動内容に応じた環境調整が不足している。スタッフ全体の意見を聞きながら、環境調整を進めていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2		静養室があるが収納しきれない物を置くスペースになっており、使用しにくくなっている。収納スペースの確保が課題。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		現場の職員間で支援の様子や振り返り事項は共有できているが、話し合いの時間が少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		1年目のため、今後の課題。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		職員の意見を聞くようにしているが、不十分な点がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	3		職員数が少ないこともあり、研修機会が確保できていない。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2		作成・公表はしているが、十分に活用できていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	2	こどもの状況を熟知している職員から意見を聞きながら作成するように努めている。	十分なアセスメントが不足している。支援内容の洗練化とともに、アセスメント方法も検討していきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	こども主体で考えることを大切にしている。	職員間で考え方の相違などがあり、コミュニケーションを重ねていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		職員配置を増やし、行き届いた支援ができるよう努力していきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		標準化されたツールは使用できておらず、適応行動尺度などの使用を検討していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		職員数が少ない・全員が揃にくいなどで個人作業になりがち。チームアプローチの雰囲気づくりを行っていく必要がある。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	月予定を作成する際、季節のイベントや多様な活動を取り入れられるよう調整している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	2		個別活動も充実できるよう、職員配置や環境整備を進めていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2		打合せは行っているが、職員間で温度差があり、チームアプローチや連携について、より一層進めていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2		支援の時間以外で、全員が揃う時間をもう少し確保する必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	2		モニタリングの頻度や方法については検討の必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	1	3		職員全体に対して、「4つの基本活動」が十分に周知できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	こどもの意見を尊重するなど、主体性を重視している。	活動内容の中で、意図的に機会を設定することが不足している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		行っているが、不足がないか継続的に確認していきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	当所のサービスを利用しているお子さんの場合が多く、スタッフ間で情報共有できるようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4		現在該当する利用者がいないが、必要に応じて行いたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		連携が図れていない。児発センターが開催する研修会などに参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		検討しているが、実施に至っていない。土曜日などやりやすい日に計画し、具体的にしていける必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		実施されれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日頃から、少しでもコミュニケーションが取れるよう、配慮している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		1年目ということもあり、家族支援プログラムを行えるに至っておらず、今後実施していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	ご理解いただけるよう、丁寧な説明を心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	子どもの意見も聞き、計画に取り入れられるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	送迎時にコミュニケーションが取れるようにしている。	面談機会が十分に確保できていない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		1年目ということもあり、不足している。利用者への直接支援にとどまっており、家族支援の充実が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	ご意見をいただいた際にはすぐに対応が取れるよう体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	マチコミでの一斉配信を活用するようにしている。	全体的に情報発信が不足していると感じる。月便りの作成などを進めていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	記録などは鍵付きキャビネットで保管する、多くの人の目に触れるようなところでは個人名をイニシャル表記にする等に配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	2	連絡帳の記入を必ず行うようにしている。	送迎時にその日の様子を一言伝える等、保護者とのコミュニケーションを充実していきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		地域の方との交流を行えるに至っておらず、方法などについて検討が必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		マニュアルの共有を徹底する必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2		定期的な訓練を行っているが、計画の共有が出来ていないため、会議などで共有を図る必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	利用開始時にフェイスシートをご記入いただき、必ず確認するようにしている。くすり連絡票の使用、常備薬の保管・管理を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	現在食事で配慮すべきアレルギーがあるお子さんはいないものの、利用開始時にフェイスシートをご記入いただき、必ず確認するようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		安全管理に関する研修は不足している現状があり、今後の課題である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	4		実施できていない。ホームページやマチコミ配信などで定期的に周知する必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事故になりそうなことがあったら、ヒヤリハットを記入するようにしている。	職員全体に周知し、活用する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止に関する研修を年に1回行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	身体拘束にあたるような行為とはどのようなものかについて具体的に列挙し、所内ではやらないこと、具体的な事例を取り上げて対応方法を考えるといったことを行っている。	職員全体に継続的に共有する。